

第 25 回 維持管理・環境管理専門委員会

議事録

- 日時 : 平成 29 年 8 月 29 日 (火) 9:30~11:30
- 場所 : 上尾市コミュニティセンター 第 1 集会室

- 資料
 - ・ 資料-1 第 24 回維持管理・環境管理専門委員会・第 4 回 H29 年度イベント実行委員会議事録
 - ・ 資料-2 6/25 のイベント実施結果
 - ・ 資料-3 H29 の工事について
 - ・ 資料-4 オブザーバー視察について
 - ・ 資料-5 マーケットリサーチについて
 - ・ 資料-6 エコロジカルネットワークについて
 - ・ 参考資料 1 今後の予定

【議事結果】

- ① イベントの課題は、どれだけ人を集められるか。
- ② H29 年度の下池の掘削工事、中池の管理用通路の工事については事務局提案で進める。
中池の管理用通路の工事の際、管理用通路の周辺に植生しているタケの伐採も行う。
- ③ 中池の管理用通路は、完成後すぐに利用される方がいるので、整備の目的や利用に関するマナー等、最低限の情報を周知する必要がある。また、中池の管理用通路の舗装完了にあわせてセレモニー的なものを行うことも考えられる。
- ④ オブザーバー視察は、中池の管理用通路や看板の整備が完了した後の方が、外部の方に見ていただく環境が整うと考えられる。
- ⑤ マーケットリサーチとして、12月に東京ビッグサイトで開催されるエコプロ 2017 の機会を活用して、出展企業に太郎右衛門地区における取り組みを PR する方法も考えられる。
上尾市領家工業団地の領工会の会長に、企業の CSR 活動について聞いて見るのも良い。
- ⑥ エコロジカルネットワークについては、次回以降、時間をかけて、具体的な検討を行う。
- ⑦ 次回の委員会は 9 月中旬から 10 月中旬の間に開催することで調整する。

【議事内容詳細】

- 前回の議事録について
 - ・ 質疑なし。

- 6/25 のイベント実施結果
 - ・ イベント会場へ移動する途中にあったクワノキにミドリシジミが数え切れないほどたくさんおり、観察できて良かった。クワの実や、辺り一面に匂っていたアカメガシワに集まっていたと考えられる。
 - ・ イベントの課題は、どれだけ人を集められるか。
秋ヶ瀬公園で開催されるイベントとの違いは、県民だよりによる広報、駐車場が完備されている

こと、公園としての認知度、毎年実施（ミドリシジミを埼玉県の蝶にしてから実施）している等の理由が考えられる。

- ・ 北本学習センターの講座は募集すると、すぐに定員になる。夏休みでは倍率30倍にもなる。埼玉県から参加者を増やすようにいわれるが、安全管理面で増やせない状況。
- ・ やはり駐車場等の施設があることが大事であり、太郎右衛門地区にはそのような施設がない。出丸小学校跡地利用を考えていく必要があり、水場等があると、イベント等の活動の拠点になり得る。

● H29の工事について

- ・ 中池の管理用通路の工事内容については、現地確認済みであり、この内容で良い。
- ・ 特に、中池の管理用通路を中池に近づきすぎないルートに変更したことが良い。
- ・ 工事の際に、施工箇所はなるべくタケを刈り取り、タケが再繁茂しないように対応していく。
- ・ 管理用通路と転落防止柵は、荒川太郎右衛門地区自然再生協議会の皆さんの協力を得ながら管理していく必要がある。
- ・ 今年度、管理用通路が完成する予定であり、完成直後に利用される方のためにも、最初の段階で、管理用通路の目的や利用に関するマナー等を周知しておく必要がある。
- ・ 中池を利用しているサバイバルゲームの方々にも、管理用道路の整備について説明をしておく必要がある。また、中池の管理用通路の舗装完了にあわせてセレモニー的なものを行うことも考えられる。
- ・ 下池の掘削工事については、工事用道路沿いにセイバンモロコシが増える可能性があり、注意が必要である。

● オブザーバー視察について

- ・ オブザーバー視察を実施するタイミングとしては、管理用通路や看板を整備した後の方が良いと考えられる。

● マーケットリサーチについて

- ・ 上尾領家工業団地の領工会の会長に、太郎右衛門地区の取り組みを紹介することを試みる。
- ・ 12月に東京ビッグサイトで開催されるエコプロ2017に、協議会委員が足を運び、その会場で太郎右衛門地区をCSRの場にしてもらえようPRしていく方法もある。
- ・ 荒川太郎右衛門地区自然再生協議会にも応援団が必要。上尾市環境推進大会では、美化推進委員が応援団になってくれて多くの人がかかるようになった。
- ・ 地元で強いつながりを持っている方と一緒に、応援団的な親子の組織をつくるため、学校を回るのも一つの手法である。川島町の場合は、密着度の高い組織づくりがやりやすいと思う。

● エコロジカルネットワークについて

- ・ エコロジカルネットワークの検討については、今年度中に概略でも良いので活動計画（案）を作成していただきたい。
- ・ 3地区合同見学会も今年が2年目で、同じことを繰り返すのも、進展がない。
三ツ又沼、宝来地区、入間川のことが具体的に書かれていない。入間川は、素晴らしい草原にな

っており、これからどうするかなど、太郎右衛門地区の周辺も含め一大自然地として考えていただきたい。

- ・ より具体的な活動計画（案）を考えて、維持管理環境管理専門委員会で検討していく。

- 次回の維持管理・環境管理専門委員会について
- ・ 次回は9月下旬から10月中旬の間に開催することで調整する。

以上